

# 幼稚園ってどんなところ？

香芝市立幼稚園のスコ - ガン

いきいき・キラキラ・わくわく  
笑顔あふれる幼稚園

—幼稚園は＜子どもがはじめて出会う＞学校です—

**「生きる力」の基礎は、豊かな遊びと学びから**

幼稚園は幼児教育にかかわる専門機関です。

幼稚園は家庭という環境から子どもたちが、はじめて出会う集団の場です。  
また、保護者にとっても自由な語らいの場であり、子育ての支援の場でもあります。



香芝市立幼稚園のめざす子ども像



豊かな感性をもち、  
自分の思いをのびの  
びと表現する子ども

心身共に健康で、  
明るく生き生きと  
活動する子ども

友だちと仲良く遊  
び、やさしさと思いや  
りの心をもった子ども

身近な自然に親し  
み、生命の尊さにきづ  
き大切にする子ども

いろいろな遊び  
に親しみ、自ら進ん  
で工夫する子ども

香芝市教育委員会・香芝市立幼稚園

# 香芝市立幼稚園では

## 幼稚園教育の基本に基づき「生きる力の基礎」を育てます。

- ・ 幼稚園では、「楽しくなければ幼稚園でない」をモットーに、幼児一人一人の内面をよく理解し、豊かな遊びと学びから、生きる力の基礎となる心情・意欲・態度を育てます。
- ・ 健やかでしなやかな心や生活に必要な習慣、また、自分の思いや願いを自分の言葉で話したり、感じたことや考えたことを造形や歌・リズムで表現したりなど「自分でしようとする力」を育てます。
- ・ 先生や友だちや周りの人たちとのかかわりを通して、言葉で伝えることの喜びや人を信頼する心・感謝する気持ちややさしい心・社会的ルールを守ることや善悪の判断・我慢する気持ちなどを育てます。



## 友だちとのかかわり

## 市内の小学校と交流しています。

小学校の「生活科」や「総合的な学習の時間」などで交流しています。一日体験入学も行っています。幼稚園と小学校とはそれぞれの目的の違いを認識した上で、連続性と独自性を兼ね備え関連性をもって自然な姿で児童・幼児に接し教育を行います。



**香芝市立の保育所と交流をしています。**

幼稚園と保育所、両施設が互いの枠を取り払って、よりよい保育環境を生み出そうと交流をしています。手をつないでリズムあそびをしたり園外に出かけたりして、楽しく交流しています。何度か交流するうちに名前を呼び合っている子どもたちの姿も見受けられるなど、幼稚園と保育所との友だちの輪がひろがります。



**子育て支援のため地域の幼児教育のセンターとしての役割を担っています。**

- 園庭開放・・・・・・・・就園前の子どもたちに園庭を開放しています。
- 交流保育・・・・・・・・親子で遊んだり、幼稚園児と歌をうたったり、リズムあそびをしたりして楽しく交流保育を行っています。また幼稚園の行事に招待しています。
- 子育て相談・・・・・・・・子育てについての相談に応じています。一緒に子育てを考えましょう。

詳細は各幼稚園にお尋ねいただき、ご遠慮なくお越し下さい。

**幼稚園の一日**

8:30		12:00		13:00		14:00	
登園する	いろいろな遊びをする	片づける	クラス全体で遊ぶ	給食 水曜日・弁当	片づける	いろいろな遊びをする	降園する



# 「幼児期」今大切なこと

## やる気を育てましょう

おぼつかない手つきで着替えている子どもを見ていると「早くしなさい!」と、つい手を出したくなりますが、子どもを見守ってやるには、少し時間のゆとりが必要です。手順を十分理解できていない子どもに「自分でしなさい!」と、いうのは無理なことです。それよりも、子どもの前でやり方を示したりして、「あとはできるかな?」と、子どもに意欲をもたせたり、できたときは「よくできたね」と認めてあげましょう。小さいステップを積み重ねて、子どものできる範囲を広げてやるのが、やる気を育てることにつながります。

## 触れ合いを大切に、家族の会話を増やしましょう。

家族との会話を増やすことで、家族とのきずなが深まります。会話をするときは、触れ合いを大切に、子どもの顔を見ながら話しましょう。子どもは、話を聞いてもらうことで、安心して何でも相談できるようになります。幼い時から、自分の思いを言葉で伝えたり、人の話を聞くことは、コミュニケーション力を育て、子どもの行動に望ましい影響を与えます。

## あいさつをする習慣をつけましょう

あいさつをすることで、コミュニケーションが増え、人とのつながりができ、人間関係を築く出発点にもなります。大人が子どもの顔を見て、あいさつを見本をみせましょう。

(「ありがとう」「ごめんなさい」「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさま」「さようなら」など )



## 手伝いをする習慣をつけましょう

手伝いをすることで、家族との会話が増え、生活体験が豊かになり生活力や判断力が身に付きます。子どもができそうなこと、身近なこと、興味がありそうなことから頼みましょう。お子さんに「お手伝いできた」「役に立った」と、いう喜びを味わわせてあげてください。そして、手伝いの後は、「ありがとう」と言ってほめてあげましょう。

## 「手をつないで幼稚園、おうちの方の温もりが伝わります。」

長い子育ての中で、お子さんと手をつないで歩けるのは、本当に限られています。お子さんが幼稚園に入園されると、お家の方に毎日、徒歩で送迎していただくこととなります。晴れの日ばかりでなく、雨の日も風の日も、暑い日もあり本当に大変ですが、手をつないで歩けるこの幼児期を大切にしてください。お子さんに、楽しくおはなしをしてあげましょう。そして、歩きながら信号の見方や横断歩道の渡り方、道路の歩き方などをその場で繰り返し教えてあげてください。「幼稚園の送迎は大変だったけれど、よかった」と思っていた日があつてくるでしょう。



「親の後ろ姿を見て子は育つ」といいます。子どもは、大人の行動をととてもよく見ています。よいことも悪いことも丸ごと受け止めて育ちます。よい見本を見せましょう。